

『いつのまにか株主に！』世界初。株価連動ポイント管理サービスを開発。

技術紹介資料

STOCK POINT（ストックポイント）株式会社は、株価に連動したポイントマーケティングサービスを実施するにあたり、生活者が獲得し、殖やし、消費するストックポイント（以下SP）の移動と残高の管理を、ブロックチェーン技術で実装します。

ブロックチェーン技術は、親会社である株式会社Sound-F（サウンドエフ）が開発し、地域お買い物ポイントであるNeCoban（ネコバン）として静岡県で既の実証実験が行われている技術をベースとして、今回はSP向けにカスタマイズしたブロックチェーンの仕組みを採用します。

会員が保有するSPを管理するために利用するブロックチェーンの仕組みは、ビットコインのようなオープンなブロックチェーンの仕組みではなく、クラウド上で管理主体が運営する前提でのブロックチェーンで、クラウド上の複数ノードで台帳を管理更新する仕組みを備えています。この分散台帳の中で、あらかじめ定義された条件によって、各々電子署名された複数のトランザクションをブロックにした上で、ハッシュ関数で前後ブロックの整合性を保ちながら記録していきます。

今回特にブロックチェーンによる台帳管理で工夫した点は、以下の2点です。

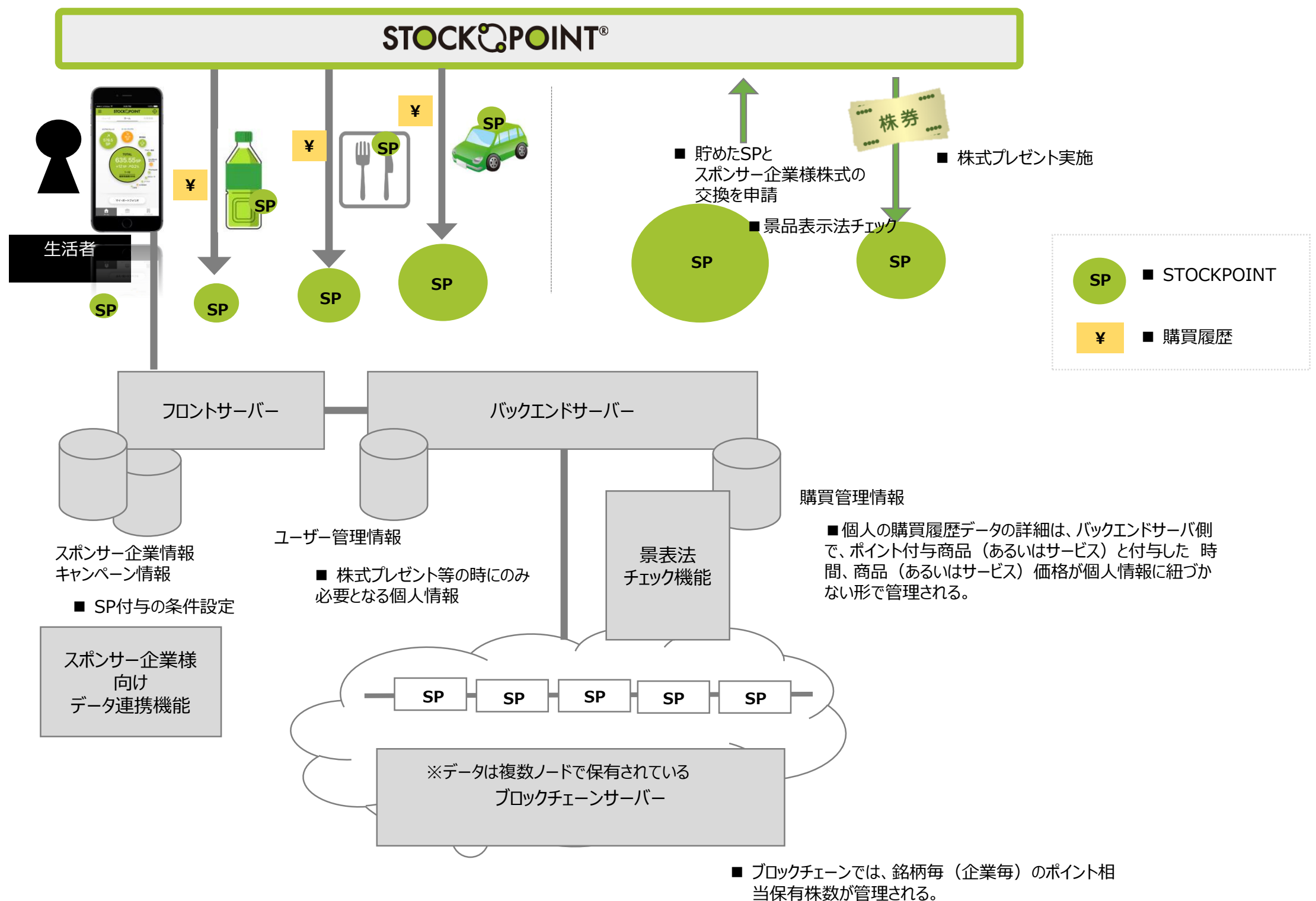
ひとつは、SPは株価に連動するポイントなので、日中の株式マーケットが開いている間は常にポイント数が増減します。この変動するポイント価値を、ブロックチェーン上でどのように制御し管理するかという点です。具体的には、ポイント数そのものではなく、その時に付与された当該企業の株数を管理することで解決しました。確定したトランザクションを電子署名して当日終値ベースでの株数を確定させる仕組みにも、生活者のスマートフォンに対して自動的に確定株数が通知できることを前提として、ブロックチェーン上でも当日終値株数を確定させられるようにしました。

もう1点は、SPを付与する場合の、付与できるポイント数が景品表示法内であることの整合性チェックの仕組みです。こちらは、SP付与時と、SPをクライアント企業の株式と交換あるいはその他プレゼント商品と交換する場合に、個々のトランザクションで管理される個別購買情報との確認を行うことが必須となります。また、個人間でSPを交換する場合も、この個別購買情報毎SPを交換するために、SPが移行されても景表法のチェックが行われるような仕組みが必要となります。このように、SP移動のタイミングで同時に個人の個別購買情報が正確に記録される仕組みも開発しました。このようなデータは、まさに個人の購買履歴情報であり、別途このデータを分析することでマーケティング等に利用できる可能性が広がります。

株価に連動するポイント管理の仕組みは既に日本では特許取得済で、海外にも申請準備をしています。また景品表示法チェックの仕組みについても、現在特許申請中です。

『いつのまにか株主に！』世界初。株価連動ポイント管理サービスを開発。

生活者が気に入った商品の購入によって付与されたポイントを貯めると、その企業の株主となることができる仕組み、STOCK POINTの提供を始めます。



STOCK POINT株式会社について

設立 2016年9月 STOCK POINTを開発・運営することを目的としております。

東京都千代田区内幸町1-1-7NBF日比谷ビル12F

代表取締役 土屋 清美

<http://www.stockpoint.co.jp/>

本件に関するお問合せ

担当：大越（おおこし）

電話：03-6268-8608

Email: info@stockpoint.co.jp